

補助事業番号 22-01-088

補助事業名 平成22年度国際映画祭の開催補助事業

補助事業者名 財団法人 広島市文化財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

- ア. 国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、人類が平和に生きることを追求する ASIFA（国際アニメーションフィルム協会）の心と、世界の恒久平和を願うヒロシマの心が一つになって行う、「愛と平和」を希求する祭典とする。
- イ. 国内外から参加する多くの人々が世界最初の被爆地広島で被爆の実相に触れることにより、人間相互の尊厳を理解するとともに、平和意識の高揚と友愛・連帯の輪の広がりを願い、世界平和の実現に寄与する。
- ウ. 世界の著名なアニメーション作家が一堂に会し、作家と参加者が集い、ふれあいながら、傑出した作品を鑑賞することにより、世界のアニメーション芸術の普及・発展及び映像文化の振興・映画産業の発展に寄与する。

(2) 開催期間

平成22年8月7日(土)から8月11日(水)までの5日間

(3) 開催場所

アステールプラザ（広島市中区加古町4番17号）

(4) 主催団体等

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、財団法人
広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部

公認 国際アニメーションフィルム協会

協力 日本アニメーション協会

助成 財団法人JKA、独立行政法人芸術文化振興基金

支援 文化庁メディア芸術人材育成支援

後援 外務省、経済産業省、文化庁、観光庁、国際交流基金、日本政府観光局（JNTO）広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、(財)広島平和文化センター、中国経済連合会、広島県商工会議所連合会、広島県経営者協会、広島経済同友会、(社)広島青年会議所、広島市PTA協議会、(社)映像文化製作者連盟、一般社団法人日本動画協会、(社)日本映画テレビ技術協会、中国新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞大阪本社、日本経済新聞社広島支局、産経新聞社中・四国総局、(社)共同通信社、時事通信社広島支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、ふれあいチャンネル、ひろしまケーブルテレビ、アニマックスブロードキャスト・ジャパン、カートゥーンネットワーク

(5) プログラム概要

ア. コンペティション（公開審査）（8月7日～8月10日）

世界58か国・地域から応募のあった1,937作品から平成22年5月に実施した選考審査を通過した57作品（22か国・地域）を、コンペティション参加作品として公開上映・審査し、グランプリ、ヒロシマ賞などを15作品決定した。

審査結果

グランプリ「アングリー・マン」(アニータ・キリ：ノルウェー)

ヒロシマ賞「ダイバーズ・イン・ザ・レイン」(プリット・ピャルン／オル
ガ・ピャルン：エストニア)

デビュー賞「ファミリー・ポートレイト」(ジョセフ・ピアース：イギリス)

木下蓮三賞「ビデオゲーム・ア・ループ・エクスペリメント」(ドナト・サン
ソーネ：イタリア)

観客賞 「ジ・エンプロイメント」(サンティアゴ・ブー・グラッソ：アル
ゼンチン)

特別賞 「ラテラリウス」(マリナ・ロセツト：スイス) 他5作品

優秀賞 「ミクスド・バッグ」(イザベル・ファベ：スイス) 他5作品

イ. 特別プログラム(上映)

広島国際アニメーションフェスティバル開催25周年記念プログラム、国際ア
ニメーションフィルム協会設立50周年記念特別プログラム、著名作家の特集プログ
ラム(ラウル・セルヴェ、ジミー・ムラカミ、特偉、川本喜八郎、アレクセイ・
アレクセーフ、ヘリット・ファン・ダイク他)、現代日本のアニメーション、ベ
スト・オブ・ザ・ワールド、平和のためのアニメーション、学生優秀作品集他

ウ. セミナー

ディズニー短編最新作品監督、ピクサー短編最新作品監督、ライカ、アレクセ
イ・アレクセーフ、ヘリット・ファン・ダイク他

エ. サブイベント(補助事業対象外)

フェスティバルとの同時開催による相乗効果により、次代を担うアニメーシ
ョンに関わる人材の育成・支援に、より効果的、効率的に貢献する場を創り出すこ
とを目的として、国内の主要な教育機関がブース出展した「エデュケーショナ
ル・フィルム・マーケット」、子供のためのアニメーションワークショップ
「キッズ・クリップ」、学生向けのシンポジウムやセミナー、プロを目指す若手
の発表の場「フレーム・イン」など19イベントを実施した。

(6) 開会式(8月7日)

(7) 表彰式・閉会式・受賞作品上映(8月11日)

(8) 出演者(参加者等)

ア. 国際名誉会長／ラウル・セルヴェ

イ. 国際選考委員／オットー・アルダー、ニコラ・ジャケ、ヴィオラ・ソヴァ、
キャンディ・クーゲル、佐藤皇太郎(5名)

ウ. 国際審査委員／アンリ・クーレフ、ミカエラ・パヴラトヴァ、ヘリット・
ファン・ダイク、アレクセイ・アレクセーフ、ヴィヴィアン・ハ
ラス、林静一(6名)

エ. 監督・制作者／ヘリット・ファン・ダイク、アレクセイ・アレクセーフ、デ
イーン・ウェリンズ他

オ. その他／アニメーション関係者・報道関係者

(9) 総入場者数

34,516人

2. 予想される事業実施効果

国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)が公認するアジアで唯一の国際映画祭

として、世界各国から多くの優れた作品を得て、アジア地域のアニメーションの普及、発展に寄与するとともに、日本のアニメーションのより一層の発展、向上が図られるものとする。さらに、今後の日本におけるコンテンツ産業の発展を促進し、映像文化の振興、映画産業の発展にも貢献できるものとする。

3. 本事業により作成した印刷物等

公式ガイドブック 3,000部

当日プログラム 20,000部

開催結果報告書 1,000部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：財団法人広島市未来都市創造財団（ヒロシマシミライトシソウゾウ
ザイダン）

住所：730-0812

広島市中区加古町4番17号

代表者：理事長 生田 文雄（ブンカジギョウブ ジギョウカ）

担当部署：文化事業部事業課（ブンカジギョウブジギョウカ）

担当者名：主事 伊藤悦子（イトウ エツコ）

電話番号：082-245-0245

F A X：082-245-0246

E-mail：hiroanim@hiroanim.org

U R L：<http://hiroanim.org/>